

社会課題解決へ 燃え上がる起業家魂

第22回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

大学や高等専門学校などの学生がビジネスプランを競い合う「第22回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」が、2月24日都内で開かれた。全国8地区の大会で優秀な成績を収めた11チームから経済産業大臣賞・ビジネス大賞に北陸先端科学技術大学院大学の加藤裕介さんらのチーム、文部科学大臣賞・テクノロジー大賞に奈良先端科学技術大学院大学の秋吉拓斗さんが輝いた。AIを活用した社会課題の解決に向けた多様なアプローチが提示され、今後の社会実装への期待が高まった。



第22回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会
主催：日刊工業新聞社
後援：内閣府 経済産業省 文部科学省 日本経済団体連合会 日本商工会議所 東京証券取引所
協賛：日本MITベンチャーフォーラム

若き起業家の登竜門 掛け値なしの激戦

22回目となる全国大会、8地区大会を勝ち上がってきた11チームは、それぞれが主眼として実行する意思・意欲が、②市場性・事業性が高く、自らが主体となつて実行する意思・意欲が、③人をひきつけ、自らの強い思いを明確に伝える表現力・コミュニケーション力があること。審査員泣かせのまさに掛け値なしの激戦だった。

講評

審査は三つの観点を重視した。①「新規性」「独創性」に満ちていること。②市場性・事業性が高く、自らが主体となつて実行する意思・意欲があること。③人をひきつけ、自らの強い思いを明確に伝える表現力・コミュニケーション力があること。



審査委員長 各務 茂夫氏

22回目となる全国大会、8地区大会を勝ち上がってきた11チームは、それぞれが主眼として実行する意思・意欲が、②市場性・事業性が高く、自らが主体となつて実行する意思・意欲が、③人をひきつけ、自らの強い思いを明確に伝える表現力・コミュニケーション力があること。

審査委員長 各務 茂夫氏

審査委員長 各務 茂夫氏

審査委員長 各務 茂夫氏

経済産業大臣賞 ビジネス大賞



北陸先端科学技術大学院大学 加藤裕介さん

豚凍結精液の販売ビジネス
養豚事業者向けに、業を提案した。現在、豚の精子を凍結する技術を開発・販売する事業を推進している。交配に使用期限が3日程と短いのが課題。牛の生産では凍結精子が普及している。しかし豚の精液は凍結に弱く、実用化に至っていない。そこで加藤さんが研究する「脱水置換カプス化」技術を応用し、精子へのダメージを軽減する。精子細胞内に糖ロリマーを添加、さらに

喜びの声
2年後に法人化
このたびは経済産業大臣賞・ビジネス大賞を戴き、大変光栄に存じます。私は、大学では凍結保存の研究を行っており、臓器や個体の凍結保存が実現できる未来を目指しており、そのなかで、凍結保存技術の社会実装にも目を向けており、豚精液の凍結保存には確かなニーズがあると実感し、本ビジネスを提案してまいりました。本技術はダイアブティック分野にあり、事業化までには時間がかかるものですが、本ビジネスの革新性と社会的インパクトを評価していただけたと感じております。本ビジネスについては、2年後の法人化を目指しております。引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

文部科学大臣賞 テクノロジー大賞



奈良先端科学技術大学院大学 秋吉拓斗さん

心を育むロボット動物園「ROBOZOO」
ロボット技術を通じて生命の尊厳を学ぶエンターテインメント事業「ROBOZOO」直接触れ合えない子どもたちに向け、生物特有の営みを再現したロボットによるイベントを提供する。産卵や代動作用をリアルに再現した。もう一つの「コウテイペンギン型ロボット」では、来場者がクエン酸などの餌を与えること、それを認識して翼を動かしたり、鳴き声を発したりする。疑似的な代動機能として、レモン電池を応用した発電機構も搭載。

第22回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

日刊工業新聞社賞



西谷颯哲さん(右)と拓日刊工業新聞社社長が授け合う賞状。CVG賞の授賞式が行われた。

AIで詐欺電話を検知「サギ止め太郎」

東京都立産業技術高等専門学校 西谷 颯哲さん

「サギ止め太郎」は、高齢者を狙った特殊詐欺を未然に防止するための電話機接続デバイスとして開発した。特徴は①回線を使わずに利用可能な②通話中にリアルタイムで検知・警告③固定電話に電源とモジュラージャックを差し込むだけで使用可能。利用者に負担をかけることなく、危険度を可視化・聴覚化して、さらに家族にLINEで通知が届く仕組みを構築。これにより高齢者本人が気付かない場合でも、家族が遠隔から状況を把握し、行動を止めることができる。

日本MIT賞



杉本稜太さん(右)と冬野健司日本MITベンチャーフォーラム理事が授け合う賞状。CVG賞の授賞式が行われた。

Umáiブランドを世界一に!

岐阜大学 杉本 稜太さん

スマート農業を活用し、海外向けに付加価値の高い農作物を生産・販売するブランドを提案した。まずは岐阜県の名産である富田柿と二口サイスの「突核無柿」を「Umái(ウマイ)ブランド」として売り出す。担い手不足で遊休化する柿畑を引き継いで育てるなど、の工夫も凝らす。すでに国内のスーパーマーケットをはじめ、米・シンガポールへも輸出している。「富田柿」を2028年までの米国への輸出を目指している。

審査委員会特別賞



鈴木海聖さん(右)と茂夫審査委員長が授け合う賞状。審査委員会特別賞の授賞式が行われた。

医療用ARで看護師に革命を

筑波大学 鈴木 海聖さん

人工知能(AI)搭載拡張現実(AR)による医療現場の実現を目指す。「ミルダケ」は、看護師支援ソフトウェア。映像と音声から看護師の行動をAIがリアルタイムで解析し、点滴交換からバイタルサイン、患者との連携遅延を招き、患者と向き合う時間を圧迫している。電子カルテに反映させる。ARは情報の一元化を促進する一方、複雑な様式や端末への往復、メモから転記の二重作業が、看護師にとって慢性的な負担となり、ヒヤリハット報告や振り回りの循環も滞りがちになっている。その結果、ケアの質・安全文化・働きがい損なわれているという。

cvgOB&OG会賞



澤田朱夏さん(右)と澤田朱夏OB&OG会会長が授け合う賞状。cvgOB&OG会賞の授賞式が行われた。

小中学生に特化した自己理解&探求学習用教材パッケージ「きみたねコンパス」

高知工業高等専門学校 澤田 朱夏さん

大人のキャリア教育で使われる自己理解の教材を開発し、小中学生に未来を主体的に選べる機会を創出。学生向けに簡素化し、早期から「真の自己理解」を可能とする教材を提供する。「きみたねコンパス」は、社会で求められる人材を育成し、社会全体の活力を高めることにも貢献する。

第22回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

◆ 出場者・プラン一覧 ◆

受賞名	学校名	氏名(敬称略)	チーム名	応募テーマ
経済産業大臣賞 ビジネス大賞	北陸先端科学技術大学院大学	加藤 裕介	RAL	豚凍結精液の販売ビジネス
文部科学大臣賞 テクノロジー大賞	奈良先端科学技術大学院大学	秋吉 拓斗		心を育むロボット動物園 ROBOZOO
日本MIT ベンチャーフォーラム賞	岐阜大学	杉本 稜太	Umái Japan	Umáiブランドを世界一に!
日刊工業新聞社賞	東京都立産業技術高等専門学校	西谷 颯哲 緒方宏太郎 平良 文哉 尾島 睦月	ToI Nexus	AIで詐欺電話を検知「サギ止め太郎」
cvg OB&OG会賞	高知工業高等専門学校	澤田 朱夏 竹村紗也香	合同会社 きみたねこうほう	小中学生に特化した自己理解&探求学習用教材パッケージ「きみたねコンパス」
審査委員会特別賞	筑波大学	鈴木 海聖 牧山 輝荘	株式会社 REMEDY	医療用ARで看護師に革命を
	岡山大学	伏谷健太郎		地方共創型RaaSでロボット導入をラクに
	東北工業大学大学院	三品 亮祐		建築用AIサービス「Archiviz」
	九州工業大学大学院	田中 一晃 鶴本 広人 黒木 永岡		爆発リスクゼロの安全×低価格宇宙輸送サービス
	岡山大学	森本 翔大		医療・介護福祉業界への新規参入サポート
	札幌大学 北海道科学大学	本間 颯介 為永 悠斗 佐藤 浅田誠一朗	AEDを広め隊	サイネージ付き高機能AEDシステム

特別講演

学生ビジネスプランの実装に20年を投じ、心臓外科手術トレーニングのデファクトスタンダードに至るまで



学生と笑顔で質疑応答する朴社長

イービーエム(東京都大田区、朴栄光社長)は、外科医師向けの医療訓練用シミュレーターの開発・販売を主力に医療訓練施設の提供などを手がける。朴社長は、第2回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会に出場し、「外科手術訓練装置の開発・販売のビジネスプラン」で文部科学大臣賞(テクノロジ大賞)を受賞した。現在は福島県立医科大学心臓血管外科で研究員も務める。当時の構想を著実に実現してきた20年の歩みを振り返った。

イービーエム社長 朴栄光氏

失敗怖くても現場に挑戦を

も練習できるシミュレーターをつくることに決めた。開発では人体を完全に再現しようとせず、製品に求める効果と限界を設定した。価格を抑えるため、拍動を再現する装置と切開や縫合を行う血管部品は交換式にした。製品普及のため、とにかく医療現場に向き、一流の医師に試作品を見ても良かった。評価に打ちのめされたこともあったが、生の声は必ず聞くべきだ。辛くても重要なことは目的を果たすこと。否定されることを恐れる気持ちがあると思うが、ぜひ積極的に現場へ出ていって失敗を経験してほしい。

20年前、私はこの大会で優勝した。普及に向けた計画は当初より遅れたものの、すべて実現している。イービーエムが開発できるシミュレーターをつくることに決めた。開発では人体を完全に再現しようとせず、製品に求める効果と限界を設定した。価格を抑えるため、拍動を再現する装置と切開や縫合を行う血管部品は交換式にした。製品普及のため、とにかく医療現場に向き、一流の医師に試作品を見ても良かった。評価に打ちのめされたこともあったが、生の声は必ず聞くべきだ。辛くても重要なことは目的を果たすこと。否定されることを恐れる気持ちがあると思うが、ぜひ積極的に現場へ出ていって失敗を経験してほしい。

最後に、人生は選択の連続であるという話をしたい。私は飛行機の操縦もする。操縦では常に姿勢を作り、修正する選択の繰り返しで進路を保つ。それをしなければ高度が落ち、まともに飛べない。人生も同じで、自分で選択することが何より幸福につながる。選択を誤っても、若い皆さんには回復する力がある。ビジネスプランの継続の是非を含め、皆さんには自分自身で未来を選ぶことを大切にしてほしい。



講演する朴社長